

校長室だより

12月【師走（しわす）】19号

生駒市立緑ヶ丘中学校 校長 滝澤治生

期末テストが終わり、12月に入りました。冬休みに向かう雰囲気が一気に加速したように感じます。今年度は14日間の冬休みとなっています。そろそろじっくりと、冬休みの過ごし方を考えていきましょう。特に、今年を振り返って自分をほめてあげたり反省したり、そして、来年はどういったことに挑戦したいのかを考えたり。そんなことも考えながら、冬休みそのものを満喫してほしいと思います。

◇ 人権週間中です

昭和23年12月10日に、「世界人権宣言」が採択されました。法務省の人権擁護機関（じんけんようごきかん）では、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定めています。期間中には全国各地で人権啓発活動が行われます。

人権週間の期間中だけではなく、私たちは日々、相手のことを思い合い、認め合いながら楽しく生活できるように考えながら過ごしているはずです。そんな素敵な生き方をする一方、人間には弱い部分があり、それが「悪口」や「いじわる」として現れることがあります。そんな弱さに向き合い、自分をコントロールし、弱さを追い出すのか封じ込めるのか、勇気を持ちみんなで取り組んでいこうではありませんか。

◇ 緑中協力隊との除草作業がありました。

11月27日（木）、期末テストの2日目の放課後に、緑中協力隊の皆さんと教職員とで、校内の除草作業を行いました。「美しい環境で人は育つ」は教育の根っここの部分です。学校の環境整備に大きな力を貸していただいていることに感謝申し上げます。



今回は、本校北側のスロープにて、歩道に張り出している枝の選定をしました。

◇ 任命式を行いました。

12月1日（月）に任命式がありました。生徒会役員、専門委員会の委員長・副委員長、役員改正による室長に任命書を渡し、バトンを引き継いでもらいました。旧の役員、委員長・副委員長、室長の皆さんのが残してくれた道を、新しいさんがさらに先に広げていってくれることを期待しています。

◇ 文化鑑賞会を実施しました

12月2日(火)、たけまるホールにて、文化鑑賞会を実施しました。生徒会が主催となり、3年に1度、文化的な催しごとを行い、さまざまな伝統文化に触れるという企画です。今回はクラシック音楽の鑑賞ということで、ローゼンビート音楽研究所の音楽家にお越しいただきました。保護者の皆様方も多数のご来場をいただきました。本物の芸術に触れるめったにない素晴らしい機会でした。



親子でのトリオ演奏



演奏の中に笑いも盛り込んで



世界のタンバリンを紹介



9拍子はキツネうどん!



どんどんとセッションの演奏人数が増えていきます



手話付きの曲です



お礼の花束の贈呈



最後は会場になだれ込んで

break time

座標について

点の位置を決めるものとして「座標」があります。この考え方を確立したのがデカルト(1596~1650 フランスの哲学者・数学者)です。彼は壁にとまつたハエがあちらこちらに移動する様子を見て、座標という考え方を思いついたといわれています。

身近にある座標の形として、碁盤がありますね。囲碁では横を1, 2, 3, 4, …, 19とし、縦を一、二、三、四、…、十九として、碁石の位置を(2, 五)のように表すそうです。京都の町は道が碁盤のようにつくられていることで知られています。交差点の呼び方について、「烏丸通りと御池通りが交差するところ → 烏丸御池」といいます。また、東西の通りとして一条、二条、三条、…とありますが、例えば南北に通る堀川通りの交差点について、四条堀川、堀川五条、七条堀川などと呼ばれています。横の直線と縦の直線が垂直に交差することを利用して場所を示す「座標」の考えでした。